

香川・よんでん五色の森で第2回の森づくり活動を実施

昨年2月に「フォレストマッチング 協働の森づくり」協定を結んだ「香川・よんでん五色の森」で11月8日(土)、四国電力(株)高松支店の社員と家族の皆さん97人が、第2回目の協働の森づくり活動を行いました。

あいにくの雨でしたが、親子連れもたくさん参加し、今回の植林のため6月に地ごしらえなどの準備を行った「香川・よんでん五色の森」に、「ヤマモミジ」200本を植林しました。

参加者は、土地の所有者の鬼無財産区の10人の方々から、苗木の植え方の指導を受けて、落ち葉を取り除いて、穴を掘り、1本1本丁寧に植えました。

また、苗木が倒れないように、紙テープで支柱に苗木を結び、思い思いのメッセージを書いた杭を立て、大きく成長することを願いました。



<用意されたポット苗200本>



<親子一緒に苗木を植樹>



<小雨の振る中、植樹をする参加者>



<大切に植えた苗木に「大きくなあれ」と書いた杭>

また、作業終了後には、香川の杉材を使って製作した「香川・よんでん五色の森」の看板の除幕式を行いました。

四国電力(株)高松支店は、今年から5年間かけて、約1,000本のヤマモミジを植林することにしており、来年の夏には、今回植林した苗木のまわりの下草刈りと、次の植樹に向けての整理伐を実施する予定です。



<「香川・よんでん五色の森」の看板>